

\*\*\*\*\*  
\*\*  
\*\* ソフトウェア説明書 \*\*  
\*\*  
\*\* Windows/Windows for Itanium版 \*\*  
\*\* Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition \*\*  
\*\* Systemwalker Centric Manager Standard Edition \*\*  
\*\*  
\*\* 監査ログ管理 ETERNUS AS500アーカイブストレージ連携 V13.2.0 \*\*  
\*\*  
\*\*\*\*\*

本書は、製品の取扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。

#### [高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセーフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセーフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセーフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

---

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright(C) 富士通株式会社 2007

---

#### 表記方法について

本書では製品名などについて、以下のように略して表記しています。

「Microsoft(R) Windows(R) XP Professional operating system」を「Windows(R) XP Professional」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server operating system」を「Windows(R) 2000 Server」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server operating system」を「Windows(R) 2000 Advanced Server」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system」を「Windows(R) 2000 Professional」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Standard Edition」を「Windows Server(TM) 2003 Standard Edition」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Enterprise Edition」を「Windows Server(TM) 2003 Enterprise Edition」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003 R2, Standard Edition」を「Windows Server(TM) 2003 R2 Standard Edition」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003 R2, Enterprise Edition」を「Windows Server(TM) 2003 R2 Enterprise Edition」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Vista(TM) Business」を「Windows Vista(TM) Business」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Vista(TM) Enterprise」を「Windows Vista(TM) Enterprise」と表記しています。  
「Microsoft(R) Windows Vista(TM) Ultimate」を「Windows Vista(TM) Ultimate」と表記しています。

本書は、以下の構成で記述されています。

1. 機能概要
2. 適応マニュアル
3. 制限事項
4. 使用上の条件
5. 製品構成
6. インストール
7. アンインストール

#### 1. 機能概要

本ソフトウェアはSystemwalker Centric Managerに対し、監査ログ管理機能によって運用管理サーバ上に収集した監査ログファイルをETERNUS AS500アーカイブストレージ（以降、ETERNUS AS500を表記）に退避する機能および退避した監査ログファイルを運用管理サーバに復元する機能を追加します。

回避・復元機能は、それぞれのコマンドにより構成されます。

## 2. 適応マニュアル

Systemwalker Centric Manager 監査ログ管理 ETERNUS AS500アーカイブストレージ  
連携ガイド(B1WS-0171-01Z2(00))

上記マニュアルは、Systemwalker技術情報ホームページにて、本書と同じページより  
ダウンロードしてください。

## 3. 制限事項

制限事項はありません。

## 4. 使用上の条件

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア条件およびハードウェア環  
境を満たしている必要があります。

### 4.1 ソフトウェア条件

#### 1) 前提基本ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下の基本ソフトウェアが必要です。

項番	インストール種別	基本ソフトウェア
1	運用管理サーバ	Windows(R) 2000 Server (*1) Windows(R) 2000 Advanced Server (*1) Windows Server(TM) 2003 Standard Edition (*2) Windows Server(TM) 2003 Enterprise Edition (*2) Windows Server(TM) 2003 R2 Standard Edition Windows Server(TM) 2003 R2 Enterprise Edition

\*1 : Service Pack 4を適用してください。

\*2 : Service Pack 1を適用してください。

#### 2) 必須ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

- ・Systemwalker Centric Manager V13.2.0以降の運用管理サーバ

[Windows for Itanium版以外のWindows版の場合]

- ・ ETERNUS AS500エージェント V10L10以降
- ・ JDK 1.5

[Windows for Itanium版の場合]

- ・ ETERNUS AS500エージェント for Itanium V10L10以降
- ・ JDK 1.4.2

### 4.2 ハードウェア環境

本ソフトウェアを使用する場合、以下のハードウェアが必要です。

適応機種 :

- ・サーバ :
  - PRIMEQUEST シリーズ
  - PRIMERGY シリーズ
- ・ストレージ
  - ETERNUS AS500アーカイブストレージ

### 4.3 ディスク容量

本ソフトウェアに必要なディスク容量を示します。

#### 4.3.1 静的ディスク容量

ETERNUS AS500連携機能を新規にインストールするためには次のディスク容量が  
必要です。

項番	フォルダ	ディスク容量
1	Systemwalkerインストールディレクトリ(※1)	1.0(MB)

(※1) デフォルトは C:\WIN32APP です。

#### 4.3.2 動的ディスク容量

ETERNUS AS500連携機能はインストールに必要な静的ディスク容量に加えて、以下の動的ディスク容量が必要です。

機能	フォルダ	用途	ディスク容量
退避 復元	管理情報格納先に 指定したディレク トリ	退避するログ ファイルの管理 情報保存領域	退避するログファイルの総数×4(KB) (※1)

(※1) 1KBは1024byteとしています。

#### 4.4 メモリ容量

ETERNUS AS500連携機能は、Systemwalker Centric Managerの動作に必要なメモリ容量で動作します（ETERNUS AS500連携機能を追加するにあたり、運用管理サーバにメモリを増設する必要はありません）。

#### 5. 製品構成

[Windows/Windows for Itanium版]  
mpatmascmd\_20071015.exe

上記ファイル（自己解凍形式）を解凍すると、カレントディレクトリに以下のファイルが展開されます。

- mpatmasbackup.exe
- mpatmasrestore.exe

#### 6. インストール

2. の適応マニュアルにしたがって、インストールを実施してください。

#### 7. アンインストール

2. の適応マニュアルにしたがって、アンインストールを実施してください。

---